

2021年05月31日

【新規格付】

百十四銀行

発行体格付： A－ [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

香川県において高い市場地位にある地域銀行。香川県の県内総生産・法人数・人口が全国に占める割合は0.7～0.8%程度と経済規模は小さい。預貸ギャップを埋めるべく、古くから県外での貸し出しに力を入れている。県外10都府県に店舗網を有し、貸し出しの過半を県外融資が占める。岡山県では一定のメイン先を抱えるほか、愛媛県においても海運関連業を主体に貸し出しを伸ばしており、県内に次ぐ基盤を持つ。

貸し出し・市場運用ともにリスク選好度は高くない。預証率が高く、抱えるリスクは市場リスクが主体だ。政策保有株式や株式投信・REITの価格変動リスクが大きいことを踏まえ、リスク分散を意識した運用ポートフォリオの構築を進めている。

貸し出しは総じて小口分散しており、信用リスクは大きくない。貸出金に占める割合が高い海運関連業向け融資は市況悪化への耐久力を備えた船主が主体でリスクを抑制できている。大口の要注意先がやや多く、個社の信用力の低下でリスク量が拡大しやすい点には注意が必要だ。資産の質は比較的健全でネットリスク管理債権比率や分類債権比率は低い。住宅ローン・不動産賃貸向け融資の質も問題ない。

内部留保の蓄積力が弱く、リスク耐久力は格付対比でやや低い。政策保有株式の圧縮を進めており価格変動リスクが大きく膨らむ懸念は小さいが、リスク耐久力の改善には市場部門への収益依存度を引き下げていくことが重要だ。

収益力は格付対比で低く、顧客部門の損益は赤字だ。2020年度からの中期経営計画では店舗網の再編や総人員の適正化に着手しており、経費削減を支えにさらなる収益力の低下は回避できる見通し。もっとも資金運用利回りの低下に歯止めがかかっておらず、資金利益への下押し圧力が続いている。法人・個人へのソリューション提案を通じた役務取引等利益の底上げなど粗利益の増強に向けた施策の進捗に注目していく。円貨・外貨とも流動性には問題ない。

以上を踏まえ、発行体格付をA－とした。政府と金融機関による資金繰り支援が奏功し、コロナ禍でも信用コストは落ち着いている。ただしコロナの収束までに時間を要すると、多様な業種で企業の信用力の低下が加速する可能性がある。ランクダウンの増加で資産の質が悪化していかないか、今後の動向に注意していく。

【格付対象】

発行者：百十四銀行(証券コード：8386)

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A－(新規)	安定的

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	越智 彩夏
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2021年05月31日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2018.05.31] 金融機関等に共通する格付の考え方 [2020.03.23] 預金取扱金融機関 [2019.02.21]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html	
格付関係者	百十四銀行
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
情報提供者	格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。 利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当)

TEL. 03-6273-7471
TEL. 03-6273-7273

E-mail infodept@r-i.co.jp

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。